

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について ・授業研究等 (教務部・研修部)	特別活動について ・部活動や学校行事等 (特別活動部)	生徒指導、健康等について ・基本的生活習慣等 (生徒指導部・保健部)	進路指導について ・進路行事、進路情報等 (進路指導部)	校務一般について ・分掌間、PTA、教育振興会、 地域との連携等 (総務部)
小項目	① 生徒の実態を踏まえつつ、質的に充実した三修制のカリキュラムを構築する。 ② 各分掌と連携し、機能的、合理的なシステムを構築する。 ③ 生徒の理解度や授業の状況を分析し、効果的な授業経営ができるよう対応する。 ④ 授業参観週間、研究授業、授業研究会、授業アンケートを計画的に実施する。	① 4年間を見通してホームルーム活動の指導に努める。 ② 各種生徒会行事の企画立案、実施と生徒会誌「僚星」発行、「定時の心得」の検討と実践とともに、定通中央地区大会、定通全県総体、生徒生活体験発表大会に積極的に参加させる。 ③ 生徒の考え方を否定せずに伸ばしていく。	① 「いじめ」などの人間関係のトラブルを未然に防ぐため、生徒会と連携しながら「いじめ防止宣言」を策定し、生徒自身の「いじめ」をなくす意識を高めていく。 ② 生徒に関わる情報交換がスムーズに行えるよう職員相互の連携を図る。 ③ 性に関する全体指導として、「性教育講座」を夏期休業前に実施する。	① 進路目標を具体化させ、実現に向けて個々の生徒に合わせた支援を行う。 ② キャリア教育年間計画を策定し、計画的に進路指導を行う。 ③ 保護者やジョブサポーターと情報を共有し、協力して進路指導を行う。 ④ 職場定着支援員やハローワークと連携を図り、進路に関する情報を整理して提供し指導する。	① 学校行事の円滑な実施・運営を図る。 ② PTA会員・振興会員に向けて、事業への参加を促進し、活動の活性化を図る。 ③ 創立70周年実行委員会を設置し、この10年の活動の記録を整理する。
実施状況・達成状況	① 三修制について、1年次だけでなく2年次においても成績や出欠状況を観察するシステムを作った。年度末に課題を先送りすることなく随時、生徒個々に声かけする必要がある。 ②、③ 日々の出欠管理から成績処理にいたるまで、各学年部、各教科にとってより分かりやすいデータ提示を行うことで、履修状況について伝えることができた。出張、年次に対応した時間割変更を行い、自習時間がでないよう工夫した。教務内規の一部改定を迫られる場面があった。 ④ 授業参観週間を通じて授業研究を推進することができた。	① 今年度は不登校の生徒、怠学の生徒がやや多く、学校行事すべてにおいて教師の出番が多くなってしまった。 ② できる限り生徒にやらせたいと思いながらも結果として教師が主導しないと成り立たないことになってしまった。 ③ 行事の運営方法、あるいは行事の見直しも職員全員で考えてみなければいけない時期なのではないかと考えている。	①、② すべての先生方の協力が得られ、問題を有する生徒や支援を必要とする生徒の情報を広く把握し、円滑な情報交換が可能となった。また、できるだけわかりやすく、生徒の心に響く指導を心がけてきたがまだまだ十分とは言いがたかった。 ③ 性教育講座を夏季休業前に実施し、事後アンケートに書かれていた質問に、ほけんだよりでコーナーを設けて回答した。	① 個々の生徒に合わせて支援を行ったが、2月時点で約半数の生徒が進路未決定であり、より早い段階での踏み込んだ支援が必要であった。 ② 年間計画を策定し、学校生活全般を通してキャリア教育を行った。 ③ 保護者やジョブサポーターと連携を取り進路指導を行ったが、生徒と保護者との関係性により、進路が確定できなかったり、志望先が突然変更になったりするケースもあった。 ④ 職場定着支援員ならびにハローワークと連携して情報提供に努めた。	① 職員会議の準備では、昨年度の会議資料、月間行事から項目をかき出し、準備しやすいように回覧した。 ② PTA会員・振興会員の参加者は昨年度を下回った。 ③ 振興会・PTAと連携し、70周年の実行委員会を立ち上げることはできたが、実行委員会の開催が遅れがちになってしまった。
評価	B	B	B	C	B
次年度への提言	① 新しい三修制の定着を図る。 ② 日々の出欠管理から年度末の単位認定まで成績処理をより効率的に行う。 ③ スムーズな授業経営ができるように教務の立場からサポートする。1年次の英語・数学・国語の学び直し学習の充実を図る。 ④ 授業参観、授業研究会・研究授業を計画的に実施する。	① ホームルーム活動や学校行事を通して、豊かな心の育成と協調性をはぐくみ、充実した学校生活を送れるようにし、学校の活性化を図れるようにする。 ② 生徒会活動や部活動に積極的に参加させることにより、集団への帰属意識を育てる。 ③ 自分たちで問題点を発見し、自ら考え、工夫する態度の育成を図る。	① 生徒や家庭が抱える事情に配慮しながらも誰の視点からも公正公平な指導となるよう注意深く指導にあたるとともに、なお一層指導者間の連携を図りたい。 ② 生徒の自己管理、自己責任の意識の醸成をはかる。 ③ 生活習慣の改善を目標とした保健指導を継続する。 ④ 生徒の健康に関する意識を高められるような働きかけをする。「性教育講座」・「保健講話」の内容の工夫する。相談活動を充実させる。	① 卒業生の進路希望を実現させる。 ② 学校生活全般を通じたキャリア教育を体系的、総括的に推進する。 ③ 家庭・ハローワーク・分掌・担任が緊密な連携を図れるような指導体制を構築する。 ④ 進路情報を整理し、効果的に活用する。 ⑤ 年間を通じたソーシャルスキル・トレーニングを実施する。	① 全体的な視野に立ち、各分掌間の連絡調整を図る。(職員会議は、前年度の会議資料、月間行事から項目をかき出し回覧する) ② PTA・教育振興会との連携を密にして、活力ある教育環境作りをする。 ③ 創立70周年記念式典をとどこおりなく行う。

	1	2	3	4	5
項目	学習指導について ・授業研究等 (教務部・研修部)	特別活動について ・部活動や学校行事等 (特別活動部)	生徒指導、健康等について ・基本的な生活習慣等 (生徒指導部・保健部)	進路指導について ・進路行事、進路情報等 (進路指導部)	校務一般について ・分掌間、PTA、教育振興会、 地域との連携等 (総務部)
学校関係者のご意見 感想及びご提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日制とは違う大変さがあると思いますが、今後も手厚い指導をお願いします。</li> <li>・三修制が定着すべくカリキュラムを組んでいる点と自習時間が出ないように工夫している点など評価できる。1年次の学び直しは必要で学力向上の近道になると考える。</li> <li>・生徒たちの出席率は確認しませんでしたでしたが授業研究をよくされ、学力向上、教科知識習得など、授業は順調と見受けられます。</li> <li>・かなりの工夫と配慮がうかがえます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職試験に取り組もうとしない生徒が多いのは、特別活動で取組がうまくいかないことと関係があると考え。多様な生徒がいるので、うまくいかないこともあると思うが頑張りたい。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを利用してはどうか。</li> <li>・部活動への積極的な参加が学校生活のプラスになると思います。</li> <li>・特別活動に生徒が主体的に取り組む工夫としては、チャレンジする勇気が尊いことを理解してもらうことが大切である。帰属意識とともに共同作業による成果が大なることも学んで欲しい。</li> <li>・不登校・退学などは生徒側の問題のように思われる。生徒数が少なく、生徒の中からリーダーシップが湧かない場合、教師主導もやむなし。卒業式で答辞などを聞きますと生徒は学校生活を楽しいと感じました。</li> <li>・生徒の自主性を引き出すことが大変な状況のようですが、普通科の生徒にも感じる場所がありますので、さらに大変かなと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の心に響く指導といっても難しい場面もあると思います。継続していくことが大事だと思います。</li> <li>・生徒の情報の共有が適切に行われている点といろいろな講話が実施されている点は評価できる。自己管理あるいは自己評価の方法を具体的に学ばせるなど自身の成長を確認でき本人の自信となるような取組をして欲しい。</li> <li>・よく取り組んでおられるようです。</li> <li>・「生徒の心にひびく授業」はありがたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導関係の評価がCになっているが、生徒の家庭環境などの要因も有り、結果だけを見るのではなくその取組について評価しても良いのではないかと。</li> <li>・来年度ソーシャルスキルトレーニングを取り入れるようだが、大変良い取組と思う。大人でもできていない人がいる。自立心を養うように年次ごとに段階的に修業させて欲しい。</li> <li>・途中の努力やプロセスが良い方向に向いていると評価してはどうか。</li> <li>・保護者・地域間での協力体制の充実を今後もはかってください。</li> <li>・生徒の人的自立、対人関係、社会的自立など個人の資質が十分でないこと、また他の意見や指導を受け入れる能力が十分でないことなど、指導が困難なことも推測されますが、出来ることはやられたが結果が伴わなかったと思われました。指導の努力とプロセスは評価したいと思います。</li> <li>・先生方の指導に答えることができない生徒については、家庭との連携をはかりながら対応して欲しい。</li> <li>・進路希望の実現のためだけでなく、これからの生きていく上で、教えてもらうのではなく、自ら学ぶ事の意味や楽しさを感じさせたいものです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の70周年記念行事の成功に向けての準備を頑張ってください。</li> <li>・校務全般を滞りなく実施されている。70周年記念の基本コンセプトを明確にして進めて欲しい。</li> <li>・PTAなど保護者の参加が低いようで苦労されているようですが周年記念式典が滞りなく挙行されますように期待します。</li> <li>・いつか書道を通して交流できる場があれば協力したいと思います。「好きな言葉」「好きな文字」「好きな歌」を毛筆で書かせることで楽しんでくれる生徒がいればボランティアしたいと思います。</li> <li>・創立70周年記念事業に生徒も何らかの形で関わらせ、自分と他(社会)との関係を常に考えて行動できるようにさせたいものです。</li> </ul>
評価	A	A	A	B	A

《 ABC評価 》 A : 具体的な活動がなされ、目標を達成できた。  
 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。  
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。